

予 算 要 求 資 料

令和5年度9月補正予算

支出科目 款：教育費 項：高等学校費 目：教育振興費

事業名 産業教育振興設備整備費（特定分）（国補）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

教育委員会 高校教育課 産業教育係 電話番号：058-272-1111（内8662）

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 30,000 千円（現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	30,000	15,000	0	0	0	0	0	0	15,000
決定額	30,000	15,000	0	0	0	0	0	0	15,000

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県の農業分野における次世代を担う人材を育成するために、県立農業高校において農業のスマート化に対応した高度な実験・実習装置を整備し、学習環境の充実を図る。

（2）事業内容

スマート農業に対応した高度な産業教育実習装置の整備

(3) 県負担・補助率の考え方

国負担1/2、 県負担1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	30,000	スマート農業対応実習装置
合計	30,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針1 りふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
目標5 産業教育の推進

(2) 国・他県の状況

- ・農林水産省による全国の農業教育機関向けの補助事業「農業教育高度化事業」を受けたスマート対応実習装置の整備（令和4年5月11日付、交付決定済）
- ・国庫補助事業を受けて多くの都道府県でも同様の事業で整備予定

(3) 後年度の財政負担

- ・県単独の「産業教育施設設備整備事業」として県負担10/10で実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県立高等学校は、県が所管する教育機関であり、農業のスマート化に対応した高度な実験・実習装置を整備し、学習環境の充実を図る必要があるため。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農業の技術の進展、特にスマート化やIoTに対応した専門技術の基礎・基本を確実に身に付けるため、スマート実験・実習用機器を国庫補助事業を活用し、効率的に導入し、農業分野の担い手育成に必要な学習環境の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R4)	達成率
設備整備数	0			5	5	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	農業の技術の進展、特にスマート化やIoTに対応した専門技術の基礎・基本を確実に身に付けるため。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	設備予定の高等学校と密に連携を取り、適正に事業を執行できるようにしているため。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 設備の老朽化が進んでおり、老朽化した設備の更新・維持・補修に関する予算が不足している。引き続き予算措置を講ずる必要がある。 また、国庫補助事業(スマート専門高校整備事業)として、デジタル実習装置を導入したが、スマートトラクタ等固定できない農業機械等は事業対象外であったことから、技術革新への対応に関する予算措置を計画的に進めておく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次世代の産業人を育成するために、国補助事業が実施された場合には積極的に活用し、整備を進めることが効果的である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	農業教育高度化事業事業 【農業経営課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	農水省国庫補助事業と組み合わせて、スマート農業を学ぶことができる環境整備を行う。